

令和4年度図書館事業評価結果について

河内長野市立図書館（図書館）では、図書館法第7条の3に基づき、図書館サービスその他図書館運営の維持・向上を図るため平成26年度から図書館事業評価を行っています。令和4年度の図書館事業評価結果について、取りまとめましたので公表します。

図書館は、平成31年2月23日付け河内長野市図書館協議会（図書館協議会）の答申を受け「第2期河内長野市立図書館の事業の実施等に関する基本的な運営の方針」（基本的運営方針）を平成31年3月31日付けで決めました。基本的運営方針に基づき策定した事業計画及び指標の達成状況を分析し、今後の課題・取組等について図書館により自己点検・評価を実施します。また、この自己点検・評価を踏まえ図書館協議会委員から外部評価を得ます。その結果を「河内長野市立図書館事業評価」として公表します。

1．点検及び評価の目的

- ・基本的運営方針に基づいた運営がなされていることを確保し、事業水準の維持・向上を図ります。

2．評価の方法等

基本的運営方針に基づき策定した事業計画及び指標の達成状況を分析し、指標に係る数値目標により3段階の評価基準で評価を実施します。また、図書館協議会委員から外部評価を得ます。

実績は12月末現在の数値に3月末までの推計を含めて算出します。

- ・評価基準（端数切捨て）
A...達成した（90%以上） B...ほぼ達成した（89%～61%）
C...達成できなかった（60%以下）

令和4年度河内長野市立図書館事業計画 主な取組実績及び自己点検

	事業計画	取組目標	主な取組実績	自己点検（今後の課題・取組等）
基本的運営方針 1	読書活動を推進し、市民の読書習慣の定着化を促進します。 (1) 市民の資料要求に応え、さらにその要求を広め高めて行くため、良質な資料を収集・提供します。	図書館の蔵書の充実 図書館利用の促進 魅力のある資料の収集	「河内長野市立図書館収集方針」（令和2年9月1日改定）及び「河内長野市立図書館蔵書整備計画」（平成28年4月1日策定）に基づき、蔵書整備計画予算配分表を毎年度作成し、計画的な資料の収集を行っています。 図書館の1年間の受入冊数（図書館） 12月末実績 7,694冊 3月末実績（推計） 9,883冊 図書館利用者数 12月末実績 332,687人 3月末実績（推計） 434,704人 市民1人当たりの貸出冊数 12月末実績 5.5冊 3月末実績（推計） 7.2冊	1年間の受入冊数は、昨年度の冊数と同程度です。単価が上がり冊数が増えませんが、その中でも、今度とも魅力ある良質な資料構成を目指して、ネーミングライツによる歳入を活用し資料の更新と充実を進めていきます。（ネーミングライツ（命名権料）の内訳） 令和2年1月1日～6年12月31日 初年度 50万円＋物品393,340円 次年度以降 年額70万円 また、英語多読資料の整備を引き続き進め、より一層の利用促進を図ります。 英語多読コーナー蔵書冊数 12月末実績 1,912冊 英語多読コーナー貸出冊数 12月末実績 9,494冊 来館、非来館を問わず前年度より回復傾向にあります。今後も、図書館に来館しづらい高齢者や障がい者を含めて、どのような方でも使いやすい図書館サービスの充実を努めます。11月1日からは、非接触のサービスとして、希望者の利用者カードとマイナンバーカードや交通系ICカードを紐付け、ICカードリーダーにタッチすることで図書館・公民館図書室の窓口で本などを借りられるようにしました。 貸出冊数は昨年度からは回復傾向ではありますが、コロナ禍前までには回復していません。引き続き市民の読書要求に応えられるよう、蔵書の充実に努めていきます。
	(2) 市内全域への図書館サービス提供のため、図書館、公民館図書室や自動車文庫等の全体の蔵書構成を考えた資料収集を行います。	市内全域への図書館サービス 公民館図書室の蔵書の充実 自動車文庫の蔵書の充実	公民館図書室8ヶ所、自動車文庫ステーション23ヶ所のサービスポイントを活用し、利用者の利便性の向上と資料提供に努めました。 図書館と公民館図書室との相互貸借冊数 12月末実績 37,448冊 3月末実績（推計） 49,931冊 公民館図書室の1年間の受入冊数 12月末実績 783冊 3月末実績（推計） 920冊 自動車文庫の1年間の受入冊数 12月末実績 297冊 3月末実績（推計） 453冊	コロナ禍においても、予約資料を最寄りの公民館図書室や自動車文庫サービスポイントを利用して受け取るなど、図書館ネットワークが有効に活用されており、例年とほぼ変わらない相互貸借冊数となっています。 今後とも1冊あたりの資料費が上昇するなかでも、市内全域にサービスできるように継続した資料整備を行っています。
	(3) 市民の身近な施設としてのサービス機能の充実を図るため、自動貸出機を活用するなど利便性の向上に努めます。	自動貸出機の利用促進	自動貸出機による貸出冊数割合 12月末実績 20.7% 3月末実績（推計） 20.6%	自動貸出機の利用状況は、12月末現在、利用人数26,333人、貸出冊数115,335冊でした。平成29年6月の導入以来増加傾向にあります。利用に不慣れな利用者に対して、今後もより利用しやすいようサポートしながら利用促進に努めていきます。

	事業計画	取組目標	主な取組実績	自己点検（今後の課題・取組等）
基本的 運営 方針 2	市民との協働を推進するとともに、交流人口の拡大や地域の活性化に寄与します。			
	（４）ボランティア活動の充実を支援し協働を推進するため、読み聞かせボランティア講座やスキルアップ講座を実施します。	ボランティアとの協働を推進	開催講座数、ボランティア活動のべ参加人数 開催講座数 12月末実績 1講座 5回 3月末実績（推計）3講座 9回 ボランティア活動のべ参加人数 12月末実績 335人 3月末実績（推計） 430人	すぐに役立つ読み聞かせボランティア講座参加者のうち、図書館で活動するボランティアに新たに加入予定3名。子どもと本をつなぐ活動に関する講座についても、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じ、開催できました。 図書館で活動いただいているボランティアについては、児童サービスではおはなし会、えほんのひろば等で活動いただきましたが、ようこそえほんといっしょ（乳幼児健診での読み聞かせ）では新型コロナ感染拡大防止のために活動をご遠慮いただきました。障がい者サービスでは、さわる絵本・布の絵本の制作はしましたが、福祉施設の訪問などは中止となりました。対面朗読については、感染防止対策を行い再開しました。ヤングサービスでは高校生ボランティアなどが活動（本の配架や修理等）を行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じながら、様々な図書館事業にボランティアとして参画いただいています。
	（５）生涯学習機会の拡大のため、他の公立図書館等との連携を一層図り、広域相互利用を実施して交流人口の拡大を進めます。	広域相互利用の推進	14市町村広域登録者数 12月末実績 8,503人 3月末実績（推計） 8,576人	市民の生涯学習機会を拡大するため今後とも広域相互利用を実施します。（14自治体：大阪市、東大阪市、八尾市、松原市、柏原市、羽曳野市、藤井寺市、富田林市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村、橋本市、五條市）
	（６）地域課題の解決に向けて、様々な分野で活動しているボランティア団体のチラシを配架することで情報発信を支援し、またボランティア活動への参加を促進して、地域活性化を図ります。	ボランティア団体の情報発信を支援	社会福祉協議会主催事業等のチラシ配布数 12月末実績 1,348枚 3月末実績（推計） 1,797枚	河内長野市社会福祉協議会内のかわちながのボランティア・市民活動センターとの連携によりチラシを配布しています。 今後も、図書館資料の展示を行うなど、積極的な情報発信や情報提供を行っていきます。 なお、チラシは地域活動の意義をより一層強く発信するために、SDGs 持続可能な17の開発目標に区分して配架しています。
	（７）「音と映像コーナー」をリニューアルし、おおさか河内材による木のぬくもりを感じながら読書を楽しんだり本を介して人と人が交流できる場所を整備します。	「木のぬくもりを感じる集いの場」の整備	令和4年度内に終了 9月末にて整備終了。（おおさか河内材によるスツール4脚、1/4円形ベンチ30脚、腰壁とカーペットを設置） 10月4日（火）から利用開始。	機器が老朽化した視聴ブースを撤去した場所に、ふるさとづくり基金、豊かな森林づくり基金、文化・スポーツ及び国際交流等推進基金を活用し、木のぬくもりや香りを感じながら本を介して人と人が出会う集いの場を整備。この場の愛称については利用者アンケートにより決定しました。令和4年7月1日～31日に自由記入形式で愛称案を募り、その中から選んだ5つの候補から令和4年8月13日～31日に投票を募った結果「こもれび広場」に決まりました。完成後は、多言語えほんのひろば、英語のおはなし会、英語多読ひろば、カフェふくろう等に活用しています。

	事業計画	取組目標	主な取組実績	自己点検（今後の課題・取組等）
基本的運営方針 3	子どもたちに多様で豊かな読書環境や学習機会を提供するため、学校、地域、家庭との連携を図ります。			
	(8)「河内長野市第4次子ども読書活動推進計画」(令和3年度～令和7年度)に基づき、関係機関との連携を図りながら子どもの読書活動を推進します。	子どもたちの図書館利用の推進 図書館と学校との連携 学校等での本に親しむ機会の提供	0～18歳の図書館登録者率 12月末実績 47.1% 3月末実績(推計) 47.1% 図書館から小中学校への団体貸出冊数 12月末実績 3,793冊 3月末実績(推計) 4,703冊 えほんのひろば参加者数 12月末実績 2,727人 3月末実績(推計) 3,900人	学校司書連絡会などで電子書籍の利用案内をし、図書館利用のPRに努めました。 学校専用の資料である「学校支援用図書」の整備等、継続した資料整備に努め、言語力向上司書とも連携しながら子どもの読書環境の整備を進めます。 令和元年度から、学校支援用図書の予約を30冊から100冊に拡大しています。 「えほんのひろば」については、全小学校および1中学校で開催しました。 それ以外の大阪府立花の文化園、河内長野市立子ども子育て総合センターでの開催は見合わせました。8月20日に夏休み子ども教室、8月22日に英語村フェスタでの開催ができました。

	事業計画	取組目標	主な取組実績	自己点検（今後の課題・取組等）
基本的 運営 方針 4	図書館機能の充実を目的に、児童サービスやレファレンスサービスほか各種サービスの向上を図ります。			
	(9)子どもたちの読書活動の推進を図るため、ボランティア等と連携し、おはなし会などを実施します。	定期的なおはなし会等の子ども向け行事の実施	おはなし会等開催回数、おはなし会等参加者数 12月末実績 64回、571人 3月末実績（推計）81回、670人	英語のおはなし会（5月29日15時～、11月20日15時～、1月15日15時～、3月12日15時～予定 いずれも日曜日） 新型コロナウイルス感染拡大防止を講じての開催となっています。水曜日のおはなし会について、子ども連れの保護者の来館が見込めない状況が続いたため、検討の結果9月より、第2第3土曜日に移行しました。
	(10)地域文庫、幼稚園・保育所及び放課後児童会等への団体貸出の利用を促進するため、資料集配送を継続実施します。	団体貸出の利用促進	資料配送件数、資料配送冊数 12月末実績 256件 11,241冊 3月末実績（推計） 341件 14,988冊	地域の幼稚園や保育所、福祉施設にパック貸出しを行ったことから、資料配送の利用は順調に伸び、子ども達の読書環境の整備に努めることができました。
(11)インターネット端末席の設置や、メールマガジンの発信、レファレンスデータベースの公開などICTを活用した図書館サービス機能の充実を進めます。	館内のインターネット利用環境の整備 インターネットを使った情報発信 電子書籍の利用促進	インターネット・オンラインデータベース端末席利用者数、国立国会図書館が提供するデジタル化資料の年間利用回数、Wi-Fi利用登録者数 端末席利用者数 12月末実績 423人 3月末実績（推計） 515人 デジタル化資料利用回数 12月末実績 4回 3月末実績（推計） 5回 Wi-Fi利用登録者数（累計） 12月末実績 1,539人 3月末実績（推計） 1,569人 レファレンスデータベースの公開件数、メールマガジン発信数 レファレンスデータベース 12月末実績 0件 3月末実績（推計） 2件 メールマガジン 12月末実績 9件 3月末実績（推計） 12件 電子図書館ログイン数 12月末実績 6,348人 3月末実績（推計） 8,051人	インターネット・オンラインデータベース端末利用や、それを使うデジタル化資料送信サービス、そしてWi-Fi利用は、滞在時間や利用の制限もあり、利用は限られている状況です。今後も利用の一層の促進を図ります。 レファレンスデータベースの事例公開は今年度2件を予定しています。郷土に関する事例を精査し、過去の公開事例の見直しも進め、利用者の課題解決の支援に努めます。電子図書館において「広報かわちながの」など河内長野市独自資料の公開、YouTube歴史講座の配信にも努めました。YouTube歴史講座をきっかけに本市がマスコミにも取り上げられるといった宣伝効果もありました。またメールマガジンでは図書館の開館状況を随時お知らせするなど、図書館情報の発信源として配信を行っています。 非来館型サービス、高齢者や障がい者サービスの充実に向け、令和2年9月に電子書籍を導入しました。今後も充実に努めます。 電子書籍の若年層の利用者が少ないため、市内の高等学校にて生徒にIDを配付しました。今後も利用促進に努めます。 電子書籍蔵書冊数 12月末実績 10,131冊 市内高等学校向け臨時ID発行数 656件	

	事業計画	取組目標	主な取組実績	自己点検（今後の課題・取組等）
	<p>(12) 図書館の利用に困難がある市民に対して、その理由や程度に応じた資料を量的拡充・質を向上させるとともに、誰もが利用しやすい環境づくりを進めます。</p>	<p>録音図書等の整備</p> <p>サピエの活用</p> <p>読書媒体や端末機器の情報入手に関する支援</p> <p>郵送貸出サービスの実施</p> <p>福祉施設へのサービスの実施</p> <p>認知症にやさしい図書館の推進</p>	<p>録音図書の新規受入数</p> <p>12月末実績 40タイトル 98点</p> <p>3月末実績（推計） 56タイトル 114点</p> <p>録音図書の他館借受・ダウンロード数</p> <p>12月末実績 706タイトル 903点</p> <p>3月末実績（推計） 941タイトル 1,204点</p> <p>マルチメディアデイジー上映会等回数</p> <p>12月末実績 2回</p> <p>3月末実績（推計） 2回</p> <p>録音図書の郵送貸出件数</p> <p>12月末実績 132件 340点</p> <p>3月末実績（推計） 176件 453点</p> <p>福祉施設への団体貸出利用数</p> <p>12月末実績 1,262冊</p> <p>3月末実績（推計） 1,565冊</p> <p>まちかどカフェ（認知症カフェ）参加者数</p> <p>12月末実績 71人</p> <p>3月末実績（推計） 95人</p>	<p>活字による読書が困難な方に、録音図書を提供しています。</p> <p>サピエを活用し、全国の点字図書館等が所蔵する録音図書を借受またはダウンロードすることにより、自館が所蔵していない録音図書を提供しています。</p> <p>カセットテープからデイジーへの移行が進み、タイトル数と点数の差が少なくなってきました。</p> <p>マルチメディアデイジー（音声と文字、画像をパソコンで同時に再生できるデジタル録音図書のこと）の普及を目指し、また図書館で貸出しできることをPRするため、上映や体験会を行っています。（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、花の文化園等のイベントは中止となりました）</p> <p>活字による読書が困難で、かつ来館するのが困難な利用者に対して、録音図書の郵送貸出サービスを行っています。</p> <p>録音図書以外の郵送貸出は以下のとおりです。</p> <p>障がい等により来館が困難な方への郵送</p> <p>（12月末実績） 心身障害者用ゆうメール のべ5人 24冊</p> <p>（3月末推計） のべ6人 32冊</p> <p>市内の福祉施設にアンケートを実施し、希望のジャンルなどを聞き取り、それを元に図書館職員が貸出パックを作成して施設まで配送するサービスを行っています（令和4年度は9施設が利用）。</p> <p>まちかどカフェは、地域高齢福祉課と共催で行っている「認知症について相談できる場」です。月1回開催しており、当事者やその家族、ボランティアなどが気軽に集える場となっています。図書館職員も参加し、資料の提供や情報交換などを行っています。令和4年11月からは「こもれび広場」で開催しています。</p>

	事業計画	取組目標	主な取組実績	自己点検（今後の課題・取組等）
	郷土歴史資料や行政資料の収集保存を進め、その普及啓発や活用を図ります。			
基本的運営方針 5	(13) 郷土歴史資料の普及啓発や活用を図るため、関連講座及び資料の展示等を行うとともに保存修復を行います。	郷土歴史資料の活用 郷土歴史資料の保存修復	開催講座数 12月末実績 3講座（7コマ） 3月末実績（推計）4講座（8コマ） 令和4年度内に完了 12月末実績 1件 3月末実績（推計） 1件	講座は、古文書講座（初歩の初歩3コマ・入門編3コマ）各1講座、歴史講座1講座（8月実施1コマ）のほか、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う非来館対応も鑑み、YouTube歴史講座を5件公開しました。また、寺ヶ池・寺ヶ池水路が世界かんがい施設遺産に認定され、その資料を基にした古文書講座実施のほか、記念事業への資料の貸出し等も行いました。また、歴史講座を1講座（1コマ）3月に予定しています。3月1日からは、「河内長野市立図書館デジタルアーカイブ」で、市内に伝わる古絵図や古文書画像を公開する予定です。 今年度は野村家文書より「明細帳」の修復を実施しました。修復事業の成果を発信し、市民の郷土歴史への関心を高めるため、修復後には展示を実施します。
	図書館を利用することで市民自らの課題が解決できるよう、図書館資料の活用を促進します。			
基本的運営方針 6	(14) 図書館資料の利用を促進するため、生活に役立つ図書館講座や児童を対象とした利用者教育講座（資料の探し方等）を開催します。また、利用者の知的好奇心を刺激するような、多様なテーマに沿った展示を行い図書館資料の活用につなげます。	課題解決に役立つ講座の開催 図書館資料を活用した展示	開催講座数、参加者数 12月末実績 3回（41人） 3月末実績（推計）3回（41人） テーマ別展示数 12月末実績 56回 3月末実績（推計）70回	小学生に図書館での資料の探し方を教える「図書館マスター」2講座（小学3～6年生対象）、生活に役立つ図書館講座1講座（英語多読）を開催しました。 毎月または随時、一般向け、児童向け、ヤング向けの各テーマ展示や、他課の講座・イベント等と連携した展示など、様々な切り口で積極的に行っています。今後も図書館資料の利用促進のため、講座や展示を継続して行っていきます。電子図書館においても、「電子図書館だより」（月刊）の作成や、様々な特集を組んで電子書籍の効果的な紹介を行い、利用促進を図ります。
	図書館司書及びその他の職員の資質・能力の向上を図るため、継続的・計画的な研修を実施します。			
基本的運営方針 7	(15) 図書館司書及びその他の職員の資質・能力の向上を図るため、継続的・計画的な研修を実施します。	研修への参加 職員の接遇能力の向上	研修（館外）数、研修参加者数 12月末実績 23講座 61人 3月末実績（推計）30講座 71人 利用者の職員対応満足度（5段階評価） 12月末実績 4.4 3月末実績（推計）4.4	文部科学省や大阪公共図書館協会等が主催する図書館員向け研修に、職員を参加させています。大阪府が実施する府内図書館員対象の研修は、令和2年度から開始した録画配信によるオンライン研修に加え、令和4年度は新たにリアルタイムに配信するオンライン開催や、集合形式で開催しつつリアルタイムで配信を行うハイブリッド形式など、感染対策だけでなく研修内容を考慮して選択した形式での実施となりました。勤務年数や経験年数を考慮し、必要な研修にできる限り多く参加できるように努めました。 利用者の職員対応満足度は、図書館アンケートにより5段階評価で平均4.4であり、今後も職員の接遇の向上に努めます。

	事業計画	取組目標	主な取組実績	自己点検（今後の課題・取組等）
	コンプライアンスを推進し、安全で安心な図書館の読書環境を維持します。			
基本的 運営 方針 8	(16) 市民の理解と協力を得て図書館の良好な読書環境の維持、利用マナーの向上を図ります。	良好な読書環境の維持	マナー向上啓発回数 12月末実績 3回（6月 水濡れ防止 6月・8月 落書き防止） 3月末実績（推計）4回（2月実施予定 水濡れ防止）	窓口にて、落書き防止と水濡れ防止を呼びかけるチラシの配布（6月）、図書館入口にて落書き防止を呼び掛けるポスターの掲示（6月・8月）、水濡れ防止を呼び掛けるポスターの掲示（6月・2月）を行いました。また、各カウンターに落書き防止を呼び掛ける注意書を貼りました（8月）。今後も図書館資料を守り、利用者マナーの向上を図るための啓発活動を行っていきます。 また、図書館入り口等に足踏み式の手指消毒スタンド、カメラ型体温測定器を設置し、授乳室やおはやしのへやに空気清浄機を導入して新型コロナウイルス感染予防対策に取り組み、良好な読書環境の整備に努めました。
	(17) 危機管理マニュアルの整備、職員に対して防火訓練をはじめAED講習や防犯講習等を実施します。	職員の危機管理能力の向上	防火訓練等実施回数 12月末実績 5回 3月末実績（推計）7回 実施内容（実施日） ・大阪880万人訓練 予行演習 8/1 本番訓練 9/2 ・自衛消防訓練 7/18 2/6（予定） ・防犯講習 11/7 ・応急手当に関する研修（動画視聴）11/1～ ・情報セキュリティ研修（動画視聴）1/10～	自衛消防訓練等を施設の関係者と合同で行いました。複合施設にあることを踏まえ、関係機関との連携を図り利用者の安全安心の確保に努めます。 河内長野警察署から講師を迎え、防犯講習を行いました。コロナ禍により対面での訓練を休止していましたが、今年度は利用者ならびに職員自身の護身や危機管理意識の向上を目的に、実戦形式も交えて訓練を行いました。 救命講習については、例年はAEDの使用方法や心肺蘇生などの救命措置の実技講習を行っていますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため動画視聴にて応急手当に関する研修を行いました。

第2期事業評価 数値目標

方針の番号	指標		元年度 (参考)	2年度 (参考)	3年度 (参考)	令和4年度実績及び自己評価		
						※年度実績は、12月末現在の数値に3月末までの推計を含めて算出 A(90%以上) B(89~61%) C(60%以下)		
1 ・ 5 ・ 6	1年間の受入れ冊数	購入冊数+寄贈冊数(冊)	13,845	12,963	11,186	目標値	12,000	自己評価・・・A (目標に対し、93.8% 達成)
						実績値	11,256	
	図書館利用者数	(人)	563,008	382,399	420,467	目標値	450,000	自己評価・・・A (目標に対し、96.6% 達成)
						実績値	434,704	
市民一人当たりの貸出冊数	貸出冊数÷人口(冊)	9.2	6.4	6.8	目標値	7	自己評価・・・A (目標に対し、102.9% 達成)	
					実績値	7.2		
登録者率	登録者数÷人口(%)	45.8	39.3	40.9	目標値	42	自己評価・・・A (目標に対し、101.9% 達成)	
					実績値	42.8		
2	広域登録者の占める割合	広域登録者÷登録者(%)	16.0	16.2	16.4	目標値	17	自己評価・・・A (目標に対し、97.1% 達成)
						実績値	16.5	
3 ・ 4	0~18歳の図書館登録者率	0~18歳登録者÷0~18歳人口(%)	49.1	48.4	48.7	目標値	50	自己評価・・・A (目標に対し、94.4% 達成)
						実績値	47.2	
7 ・ 8	学校との連携	図書館から小中学校への団体貸出冊数(冊)	6,344	3,559	5,226	目標値	6,000	自己評価・・・B (目標に対し、78.4% 達成)
						実績値	4,703	
7 ・ 8	利用者の職員満足度	5段階評価	4.5	4.4	4.4	目標値	4以上	自己評価・・・A (目標に対し、110.0% 達成)
						実績値	4.4	

図書館関係統計 (参考)

		28年度 (参考)	29年度 (参考)	30年度 (参考)	令和元年度	2年度	3年度		4年度	5年度
図書館、自動車文庫、公民館の蔵書冊数	3月31日現在(冊)	487,475	493,467	502,137	505,277	504,802	508,672			
登録者数	3月31日現在(人)	39,165	42,299	45,227	47,608	48,983	50,468			
貸出冊数	年度実績(冊)	1,078,752	1,041,706	1,028,992	961,936	767,209	792,927			
登録者1人当たりの貸出冊数	貸出冊数÷登録者(冊)	27.5	24.6	22.8	20.2	15.7	15.7			
人口	3月31日現在(人)	107,963	106,713	105,377	104,031	102,920	101,276			
職員数(うち司書)	3月31日現在(人)	28 (21)	27 (21)	27 (21)	26 (21)	32 (27)	31 (25)			
資料費	当該年度決算見込(円)	26,413,891	26,356,725	26,080,913	27,055,769	24,884,216	23,817,933			
開館日数	3月31日現在(日)	332	330	296	277	260	253			

令和4年度河内長野市立図書館事業計画に対する図書館協議会委員による外部評価

○基本的運営方針1 事業計画(1)、基本的運営方針2 事業計画(7)について

・事業計画(1)の自己点検②にある非接触のサービスと、その次のページにある事業計画(7)「こもれび広場」について、来館者からの反響はどのような感じですか。
⇒まず非接触サービスとして、図書館の利用者カードをマイナンバーカードや交通系ICカードと連携して、職員と接触することなく本が借りられるというサービスなのですが、昨年11月から開始し、4カ月ほどで80人程度の方に登録いただいている状況です。今後ともPRをしていき、たくさんの方に使っていただきたいと考えております。「こもれび広場」については、図書館の交流の場として講座の開催などを徐々にやっている状況です。開放されている場になりますので、その事業を目当てに来られている方だけではなく、たまたま来館した人が何かやっているなど見てもらえています。

○基本的運営方針2 事業計画(4)について

・自己点検の欄に「ヤングサービスでは高校生ボランティアなどが活動を行いました」とありますが、若い方に図書館について関心を持ってもらうのは非常に大事なことだと思います。高校生だと図書館に来られている人数もそんなに多くないのに、5名程度の募集に10名も応募があるとは、結構関心を持たれているとはいいことだなと思います。

・乳幼児健診での読み聞かせがコロナで中止になっているとあるのですが、その場合でも乳幼児健診に来られたお母さんに図書館のPRみたいなこと、毎週土曜日にやっているおはなし会の案内はされているのか。少し前にブックスタートというものがあったと思うのですが、それは今継続されているのか。

⇒ブックスタートについては以前は行っていたのですが、絵本をプレゼントするという活動は今も行っておりません。代替事業として「ようこそほんといっしょ」と銘打ち、ブックスタートを行っていた時と同じように、図書館職員が乳幼児健診の場に行かせていただいていたのですが、コロナ禍で職員やボランティアの方が出向くということが休止になりまして、まだ再開できていない状況です。そのため人は派遣できていないのですが、図書館の案内資料ですとか、赤ちゃん絵本を紹介したブックリストですとか、そういうものを担当の健康推進課に渡して、他の資料と一緒に配付していただくことは続けております。

・河内長野市のLINEを登録して繋がっているのですが、スマホを毎日持っているので、何があるのか広報誌よりも調べやすいです。図書館の案内もLINEの中に入れていただけたらすごく皆さんに知っていただけて、参加の方も増えるのではないかなと思いました。イベントに偶然来られるのもいいのですが、それを目的に来られるのとはまたちょっと意識が違って参加されることになり、お互いにメリットになると思います。

○基本的運営方針3 事業計画(8)について

・ベストブックバトル、B-1グランプリという名称で、小学校が昨年12月の下旬、中学校が1月に開催しました。小学校では、各校で5年生が対象なのですが、自分がお薦めしたい本を上手に紹介するコンクールのようなものを校内で行い、学校の代表を決めました。その後一か所に集まるのではなく、全13校を3つか4つのグループに分け、今年はオンラインで本を紹介し合っ、最後にみんなでどれが良かったかというのをアンケートを取りながらグランプリを決めたというものでした。結構子どもたちは一生懸命に取り組んでいました。

・小中学校で行われたベストブックバトルについて、紹介する本なんかないという子どもが多いのかと思っていました。そんなにたくさんの子どもの本を読んでいるんだと知って、すごく嬉しく思います。

⇒図書館の方でも、図書館内でベストブックバトルにおすすめの本という展示もいたしまして、本を探すときの参考にしていただけるようなことも実施しました。今後もそのように色々と連携してやっていけたらと思っています。

○基本的運営方針4 事業計画(12)について

・点字図書館からの貸出は、録音図書だけで点字図書自体はないんですね。録音をして貸し出すという形になるんですか。点字化することに対してはどのようなことをされているんですか。新しい本が出て、点字化されるまでどのような形で行われているんですか。今ならプリンタで簡単にできるのかなと思ったのです。

・社会福祉協議会には点字ボランティアや朗読ボランティアの方が活動されています。点字を読める方というのが非常に少なくなってきているという現状がありまして、音訳などが発達しており、点字を読める人が高齢化してきているので、ニーズが減っているのは確かです。しかし社会福祉協議会の方では、例えばマニュアルを点訳してほしいというご要望に対して点訳ボランティアが制作したりしています。なかなか公共のところで全てを備えるのは難しいとは思いますが、個人のご要望に応じてボランティアの人たちが時間をかけて点訳するというサービスは続いています。もしそういうご希望や事例がありましたら、社会福祉協議会にお問い合わせいただけましたら、もしかするとご要望にお応えできることもあるかなと思います。

○基本的運営方針7 事業計画(15)について

・職員の研修について、対象は会計年度任用職員も含まれていますか。開催の割合はどのくらいですか。

⇒会計年度任用職員の方も含めて全員です。新人の方には新人向けの研修を、レファレンス担当にはスキルアップのためのレファレンス業務の専門的な研修を受講していただくというように、その方に応じた内容の研修を選んで、正職員だけではなく会計年度任用職員の方にも行っていただくようにはしています。月にすると2~3回になるのですが、実際には4~5月は研修はあまり開催されず、年度の後半になればなるほど研修数が増えていくので、多い月には本当にたくさん開催されます。今年度になってからはオンラインだけではなく、集合研修も復活しつつありまして、そちらの方に行ってもらっている場合もあります。大阪府立図書館が主催される研修もあり、ヤングアダルトサービスや児童サービスなど各専門ごとに研修も開催され、そういったものにも参加しています。

○基本的運営方針8 事業計画(16)について

・私はある作家が気に入って小説を読んでいるのですが、随分昔の本に結構落書きのようなものやマークがあって情けなくなります。なんでこんなところと思うようなところに全編にわたって印がついていたり、そういう本が結構多いんです。最近の本もたまにはありますけど、少ないです。返却する時には状態チェックをカウンターでしていますよね。なぜそこでチェックできなかったのかなと思うくらいです。こういうのは何とかならないのでしょうか。

⇒図書館でもキャンペーンを年2回ほど実施して、落書きをしないようと呼びかけをしたりチラシを配布したりして努力はしているのですが、昔の分は消せないのが残ってしまっているという状況です。かなり古くなった本は除籍にして利用には供しないようにはしているのですが、ある程度読めるのであれば、「落書きや水濡れがある」という表示をつけて本を配架しています。最近の本にはないというのは、だいぶ意見をいただいたので、チェックを強化している中で少しは効果が出ているのかなと思います。